

ディプロマ・ポリシー

DP1
【幅広い教養】
言語・文学・人間心理・文化を多角的に捉えるための幅広い教養を身に付けている。

DP2
【社会的な主体性】
言語・文学・人間心理・文化の学修を通して、広く社会に貢献するための知識と理解力を持ち、ことばを通して主体的に世界と関わるができる。

DP3
【専門的なスキル】
言語・文学・人間心理・文化の学修を通して、自分らしく社会を生き抜くためのコミュニケーション・スキルを身に付けている。

DP4
【課題の探究・表現】
言語・文学・人間心理・文化の学修を通して、自らテーマを見つけ出し追求する問題意識を持ち、それを表現することができる。

DP5
【共感】
言語・文学・人間心理・文化の学修で、培った想像力を持ち、周りの人々を思いやり、誰かのために配慮することができる。

DP6
【リーダーシップ】
言語・文学・人間心理・文化の学修を通して、他者と相互関係や協同関係を作り上げ、集団の中での自分の役割を見出し、率先して行動することができる。

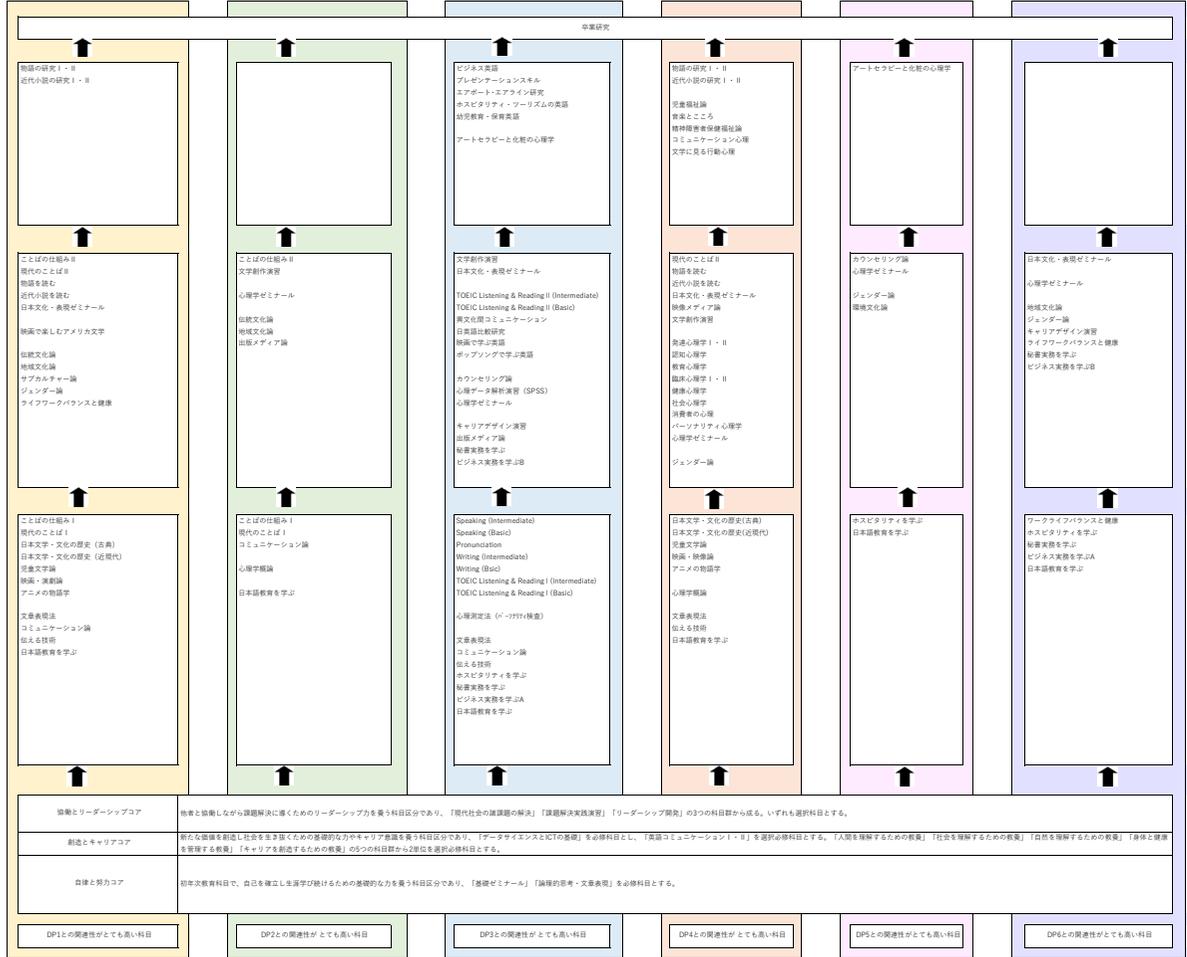
CP4
日本文化・表現コース、グローバル・コミュニケーションコース、心療学コースの3つの分野に、これらまでの学修を深めていく専門科目を履修する。専門実践科目では、学生の関心・意欲や目指している将来像にしたがって、各分野の科目を履修すると同時に、一つの分野に力を入れない幅広い知識・教養の獲得を目指す。また、それぞれの学修をもとに設定したテーマを追求し、専門的知識・技能習得の達成を必ず卒業科目を履修し、思考能力・表現能力の更なる向上をサポートする。

CP3
【専門基礎科目】で得た知識、技能との繋がりをもち、豊かな文化的教養、社会に出ていくための実践的な知識を涵養するための科目を履修して、未来を切り開く個性や、他者を思いやる豊かな人間性をもった女性を育成する。また、各分野の卒業修を履修するための科目を履修し、専門性を発展させる基盤を作り上げる。

CP2
日本文化・表現コース、グローバル・コミュニケーションコース、心療学コースの各分野を学ぶ目的や方法を理解するための科目、及び「文芸表現法」「コミュニケーション論」、プレゼンテーションの力を伸ばす「伝える技術」などの実践科目を履修し、自律した人間として成長していくための文芸表現能力やコミュニケーション能力の養成を目指す。

CP1
ひととの関わり・ひととの人間としての目的の生活を豊かに充実させる。自律した人間として成長していくための文芸表現能力やコミュニケーション能力の養成を目指す。

カリキュラム・ポリシー



アドミッション・ポリシー

AP1-1
【知識・技能】
高等学校の教育課程を幅広く修得している。

AP1-2
【知識・技能】
文科における学修の基盤として必要な科目の知識・技能、特に「国語」と「外国語」を通じて、聞く・話す・読む・書くというコミュニケーション能力を身に付けている。

AP2
【思考・判断力・表現力】
物事を多角的に捉え、自らの考えを整理・表現し、他者に伝えようとする態度・態度を養っている。

AP3-1
【主体性を持って多様な人々と協働する態度】
他者の意見や考え方を理解・尊重し、積極的に他者と協力し社会に貢献しようという態度を有している。

AP3-2
【主体性を持って多様な人々と協働する態度】
他者に寄り添い、リーダーシップを發揮している。

※各科目は「カリキュラム・マップ」でディプロマ・ポリシーとの対応関係が「○」の科目を記述している。